

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

かね

お金もちと、

ひと

びんぼうな人



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: M. Maillot; Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: M. Maillot; Sarah S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。



きょうかい

かみ

イエスさまは、教会のリーダーたちが、神さまより

かね

も、お金をたいせつにしていることを、

し

知っていらっしやいました。そこで、

ふたり

ひと

ある二人の人のはなしをしながら、

おしえてくださ

いました。



かね

どうしてお金だけあっても、しかたがない

かね

のでしょうか。いくら、お金があっても、

てんごく かみ

いのち

天国の神さまがくださる命を、  
かうことはできないからですよ。



かね  
さて、たいそうお金  
ひと  
もちの人がいました。  
きれいなふくを、きて  
いますね。きっと、  
たかいことでしょう。  
そのふくをきると、  
おう  
まるで王さ  
まのよう。



かね

いちにちじゅう

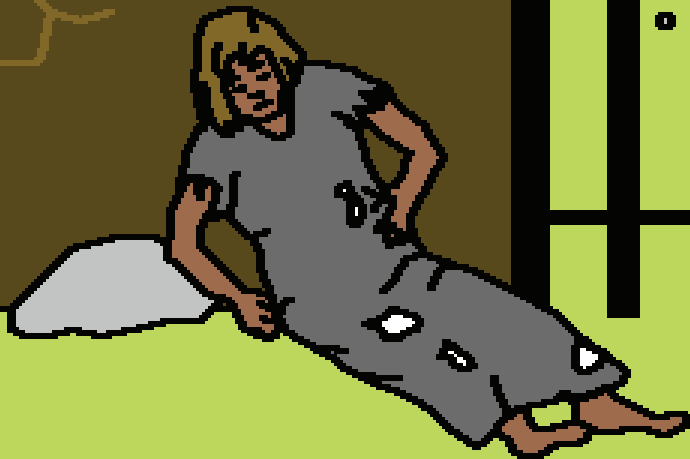
それにね、そのお金もちは、一日中、ムシヤムシヤ。とてもよくたべますね。うわあ、おいしそう。

かね

ごちそうばかりです。お金がたくさんあるので、なんでもすきなものを、たべることが出来ます。あさごはんも、ひるごはんも、ばんごはんもね。もちろん、おやつも。



かね もん  
さて、お金もちのうちの門のところに、まずしく、  
つかれきって、おなかのすいたこじきが、  
な  
いました。名まえは、ラザロ。



かわいそうなラザロ。  
からだじゅうが、いたくていた  
くてたまりません。ラザロは、  
びょうきだったのかもしれない。

ひと

それとも、ほかの人にいじめ  
られて、たたかれたり、  
きずつけられたり  
したからかな？





もしかしたら、ミルクや、  
よ  
やさいや、にくのような良いた  
べものを、たべなかったから、  
からだじゅうが、いたかった  
のかもしれない。



ラザロは、たべものが、  
ほしくてほしくてた  
まりません。もし、

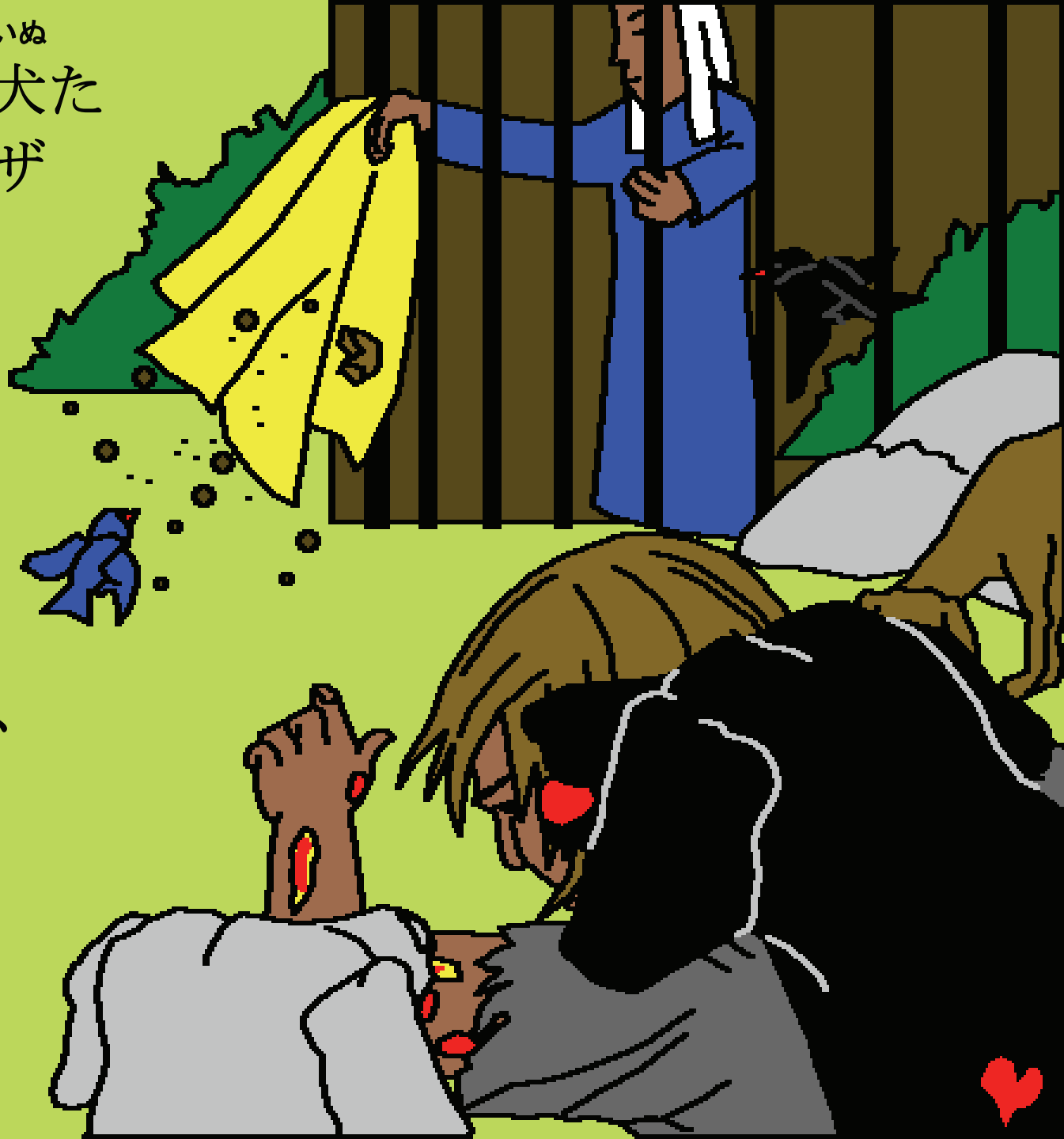
かね

お金もちのテ  
ーブルからお  
ちるパンくずだ  
けでもあれば、  
どんなにうれし  
かったことでしょう。



ときどき、のら犬た  
ちが、そつとラザ  
ロのところによ  
ってきますよ。  
そして、かわ  
いそうで、みじ  
めなラザロに、  
くんくんとは  
なをこすりつけ、  
キズぐちを、  
なめてくれ  
ました。

いぬ



ひとり

でも、だれ一人お  
なかがぺこぺこの  
ラザロなんて、  
き  
気にもかけ  
てくれません。  
あるあさ、  
ラザロは、  
もうおきあが  
ることさえ、  
できません。



かわいそうに、いつ  
もおなかをすかせ、

とも

だれも友だちが  
いなかったこ  
じきのラザロ。

よ

とうとうこの世  
からいなくな  
りました。ラザロは、  
し  
死んでしまっ  
たのです。



し  
死んだとたん、ラザロは、はじ  
めてよろこびでいっぱいになりました。

てんし  
イエスさまが、天使たちに、ラザロを、アブラハムの  
い  
ところにつれていくよう言うてくださったからです。

かみ  
神さまは、  
ラザロを、  
なぐさめてくだ  
さいましたよ。



かね さて、お金もちも、亡くなりました。いくらお金があっても、いのちをたすけることは、できませんでした。死が、やってきたとき、だれもそれを止めることはできなかつたのです。



かね つち なか

お金もちが、土の中にうめられました。たぶん、

おお ひとびと  
大きなおそうしきだったことでしょう。そして人々は、

い かね  
こう言ってお金もちを、ほめた  
たえたことでしょう。





ひと

「かしこくて、なにもかも、うまくいった人だった

ひとびと

よ。」けれども、いくら人々にほめられても、それは、  
なんのたすけにもなりません。どうしてって、

かね

いま

お金もちは今、じごくに  
いるからです。



かね な  
ここは、じごく。お金もちちは、いま泣きさけんで  
います。「わたしの父、アブラハムよ、どうか、  
ラザロをわたしのところにおくってください。



みず なか い

かれが、ゆびのさきを、水の中に入れ、わたしの  
した

舌をひやしてくれるかもしれないから。このひ

ほのお

どい炎で、くるしんでいるのです。」



おも

「思いだしてごらん。

ちじょう

地上にいるとき、あなたは、  
すべてのものを、もっていた。

でも、ラザロは、  
なにひとつなかったらろう。」

アブラハムは、おかね金もいちに言  
いました。「いま、やっと  
ラザロは、ほっとしているんだ。



そして、あなたは、くるしん  
でいる。あなたとわたしたち  
のあいだには、ふかくて、

おお

こえられないような大きい  
さけめがあるのだ。それは、  
だれもわたることが、  
できないんだよ。」



「それじゃ、おねがいです。ラザロを、  
わたしの5人のきょうだいのところにおくってください。そして、かれらに  
ちゅういするように。」



くる  
このひどい苦しみのじごくに、  
かね  
くることの無いように。」お金もちは、  
いっしょうけんめいおねがいました。



「あなたのきょうだいは、  
かみ  
神さまのみことばを、  
しているだろう。」  
アブラハムは、  
こたえました。





「もし、5人のきょうだい<sup>にん</sup>が<sup>せいしよ</sup>聖書をしんじよう<sup>し</sup>としないのなら、ラザロが、<sup>い</sup>死から生きかえったとしても、

<sup>かみ</sup>神さまをしんじよう<sup>し</sup>としないだらう。」



かね

イエスさまのお金もちとラザロのおはなしが、

きょうかい

おしまいになったとき、教会のリーダーた

じぶん

ちは、たぶん自分でかんがえたか  
もしれません。「はて、わたしは、  
どうなのだろう。



かみ あい かね あい  
神さまを愛するより、お金のほうを愛してい  
るのだろうか。」神さまのみことばを、  
かみ  
こころ  
いつも心にもっていないければ、  
どんなことがおこるのでしょう。  
みんな、よくわかり  
ましたね。



かね ひと  
お金もちと、びんぼうな人

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしで  
す。

ふくいんしょ しょう  
ルカによる福音書 16 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

